

①事業実施報告書詳細

「時間」「場所」「概要」「活動記録(写真)」「対象者の反応」が分かれば様式不問

事業実施報告書詳細<例>

学校名 上越市立大手町小学校

時間数	場所	概要	活動記録 (写真)	対象者の反応
4	青田川 沿い	<ul style="list-style-type: none"> 青田川の上流・中流・下流に訪れ、生き物調査を行ったり、地域の方にインタビューを行ったりしながら、青田川のことについて知る。 気付いたことをシートにまとめたり、交流したりする活動を行った。 	写真1 写真2 写真3	学校のすぐそばを流れているが、青田川での活動を何度も行っていく中で、青田川のよさを多く見付けていた。活動を重ねていく中で、「もっと知りたい」「他の川と比べたい」などと、思いを高めていく姿が見られた。
3	学校	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭に来た保護者に「青田川のことを伝えたい」という思いのもと、クイズで出題したり、写真で説明したり、オリジナル曲を演奏したりしながら青田川のことを伝えた。 	写真4 写真5 写真6	自分達の体験してきたことや考えたことを進んで伝えようとする姿が見られた。多くの客が来てくれたことを喜び、もっと地域の方に伝えたいという思いを強めた。
3	青田川 沿い	<ul style="list-style-type: none"> 「地域の人に青田川のことを知ってもらいたい」という思いのもと、青田川のことを伝える活動を行った。青田川のそばで伝えることで、より伝わるのではないかと考え、青田川沿いを歩きながら説明する「青田川ガイドツアー」を計画した。 	写真7 写真8 写真9 写真10 写真11 写真12 写真13 写真14	青田川沿いで伝えるという趣旨で行ったため、説明もより具体を示しながら伝えることができた。来てくれた方から手紙をもらい、「来てくれた人が喜んでくれた」「もっといろいろなひとに青田川のことを知ってもらいたい」と達成感を味わった。
3	学校	<ul style="list-style-type: none"> これからもずっと青田川のことを守っていきたいから、青田川の良さが詰まった看板作りを計画した。 		一人一人が自分の考える青田川のよさを絵に表し、それを看板に入れることとした。これまでの学びが詰まった看板に仕上がった。

写真1 青田川を感じよう



写真2 地域の人にインタビュー



写真3 青田川の上流を探検しよう



写真4 おうちの人に伝えよう(紙芝居)



写真5 おうちの人に伝えよう
(オリジナルソング)



写真6 おうちの人に伝えよう
(体験してもらおう)



写真7 第1回青田川ガイドツアー



写真8 第1回青田川ガイドツアー

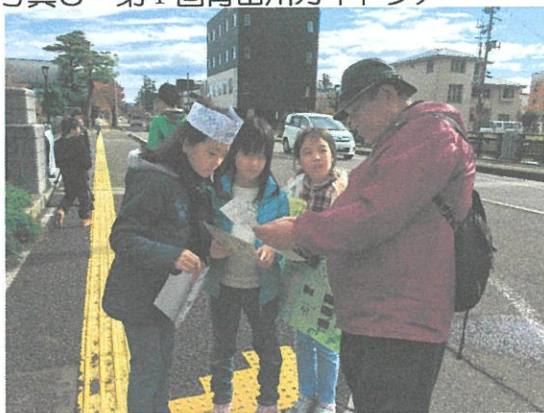


写真9 第1回青田川ガイドツアー
(生き物のことを知ってもらおう)



写真10 第1回青田川ガイドツアー
(パレードで伝えよう)



写真11 第2回青田川ガイドツアー



写真12 第2回青田川ガイドツアー



写真13 第2回青田川ガイドツアー



写真14 第2回青田川ガイドツアー



②学習指導案（計画段階の指導案。（修正版でも可））

指導にあたり作成された書類で、下記の項目が含まれているもので構いません。
様式は不問。下記は一例。その他授業実施に作成された資料等添付してください

学習指導案（計画段階の指導案）〈様式不問…例〉

単元名 (全 時間)	みんなでレッツゴー青田川！ ～青田川のよさを伝えよう～
学習のねらい	自分達が見付けた青田川のよさを、保護者や地域の方に伝える活動を通して、地域に欠かせない青田川をこれからも大切に、自分にできることを考え行動する子どもを育てていく。
学習内容	1 青田川のよさをシートで振り返り、友達と意見交流する。 2 地域の方に伝える青田川の良さをどのようにして伝えるのか考える。 3 地域の方に青田川の良さを伝える。
参考資料 準備品 実施場所等	筆記用具、これまで書き溜めたシートなど 教室、学年の教室

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
20	<p>○これまで書き溜めたシートをもとに、青田川のよさについて友達と意見交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、青田川の一番のよさは「いっぱい自然」だと思うよ。 ・わたしは、「青田川に関わる人」。青田川を愛する会の方や、町内で草刈りをしている人達がいるから、今のきれいだと思うよ。 <p>○出てきたよさを伝えるためにどのような方法がよいかグループごとにアイディアを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのよさを伝えるためには、すごろくがいいと思うよ。 ・川の流れを伝えるために、曲を作るといいと思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が見付けたものや、共通体験などを、学年の友達と共有できるようにする。 ・ホワイトボードを用意し、出てきた意見を可視化できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が見付けたよさを進んで伝えたり、友達の話に興味をもって聞いたりしている。（行動観察）

	○出てきたアイデアを全体で交流し、それぞれのアイデアのよさやアドバイスを伝え合う。		
--	---	--	--

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>青田川は、場所によって川の様子が全く違う。活動する場所を意図的に方向づけることで、「青田川に関わるもの・こと・人」への気付きを促した。また、活動ごとに気付きや考えを整理する活動や蓄積する活動を設定することで、より青田川に対する思いを高めることにつながった。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>天候により左右される活動が多かったため、設定する日を考慮する必要があった。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>外で活動することが好きな子どもが多かったため、夢中になって取り組んでいた。春のまだ肌寒い時期から、どんな魚がいるのか捕まえたり、水の透明度を調べたりと、主体的に取り組む姿が見られた。青田川と関わりを深めていく中で、「青田川には、準絶滅危惧種の生き物があるんだ」「他の川に比べると、とてもきれいな川なんだな」などと、青田川に対する思いも強めていった。</p> <p>「青田川ガイドツアー」では、「自分達の大好きな青田川をたくさんの人に知ってほしい」「十年後も、百年後もずっと青田川を守ってほしい」という思いから通行人にも自分から話しかけ、ガイドツアーの呼び込みをする姿から、コミュニケーション能力の高まりを感じた。3月には、自分達だけでは守っていけないと思い、看板作りに取り組んだ。青田川のある高田地区の景観を守っていきたいという思いを高める姿につながった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>青田川での体験と体験したことをシートに書き表すことで、子ども達が本気になって取り組む姿が見れた。その姿から、体験活動と言語活動の充実が子どもの深い学びにつながることを改めて実感した。また、活動のまとめは、学期末や学年末にまとめてするのではなく、活動後にその都度書きためていく方が、子どもの記憶も鮮明であり、無理なく活動の振り返りをすることができると感じた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <p>作成した看板は、地域の人が見られる青田川のそばに設置する予定である。来年度の総合の学習テーマについて、子どもと相談したところ、何人もの子どもが「もっと青田川のことを地域の人に伝えたい」と述べていた。次年度の総合的な学習の時間でも、地域をテーマとした活動に生かしながら展開していくようにしたい。</p>